

『西松CSRレポート2011』アンケート』結果報告

当社では、CSRレポートをステークホルダーの皆様との重要なコミュニケーションツールと位置づけています。今後のCSR活動を適切なものとして展開し、また、ステークホルダーの皆様へ、当社への理解を一層深めていただくためにも、より充実したCSRレポートの作成・発行は不可欠と考えています。

そのため、昨年度のレポート創刊から毎年、当社CSRレポートをご覧くださいステークホルダーの皆様へ、西松CSRレポートに関するアンケートにご協力いただき、当社の次年度以降の活動の参考としています。昨年度は、『西松CSRレポート2011』アンケート』として、皆様のご協力をいただきました。

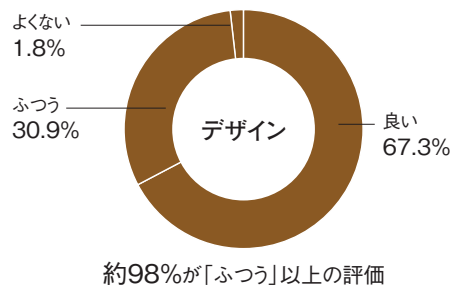
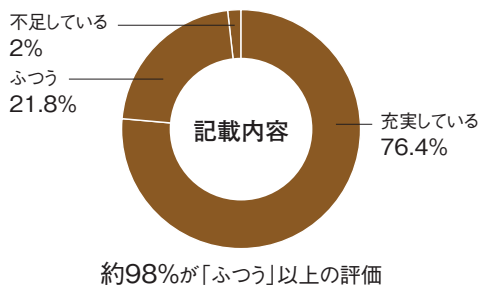
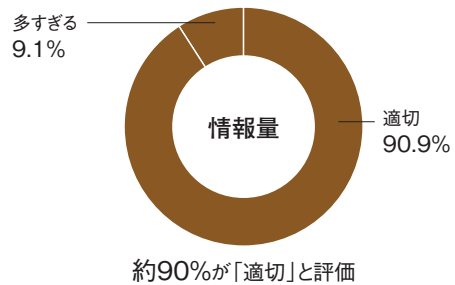
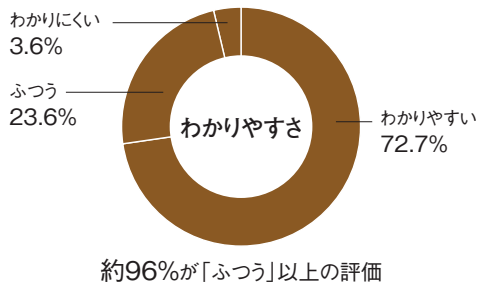
●アンケートの配布について

2011年6月末の「西松CSRレポート2011」WEBアップ、および8月上旬の冊子の配布に際して、レポート内におけるWEBアンケートへのご協力に関するお願いを記載するとともに、レポート冊子に、アンケート用紙（FAX回答用）を同封して配布しました。

●設問回答状況について

「西松CSRレポート2011」アンケートに関する具体的な設問内容および回答状況は下記のとおりです。

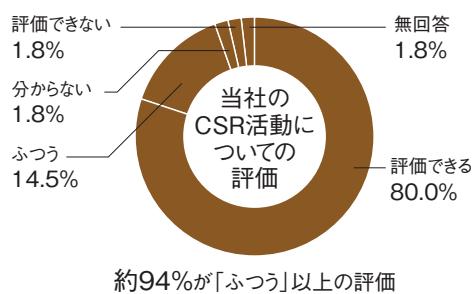
<設問1:「西松CSRレポート2011」の内容についてどのように感じたか?>



※ 「わかりやすさ」「記載内容」「情報量」「デザイン」のいずれの項目も、大多数が「ふつう」または「適切」以上での評価をお示しいただいており、概ね高い評価をいただきました。
 ※ 中でも、記載内容についての評価が当社の予想を超えた高い評価となり、CSR活動が始まったばかりの当社としては、予想以上の好感触で大変ありがたい結果となりました。今後もステークホルダーの皆様からのこのような評価を継続するためにも、CSRレポートのより一層の内容充実を図る必要があると考えています。

<設問2:当社のCSR活動について、どのように評価するか?>

※ 当社のCSR活動については、8割の回答者の皆様から高評価を頂戴しており、レポートと同様の好感触を得ることができました。今後は、本格的なCSR活動の展開を図り、継続的な高評価の獲得を目指します。
 ※ なお、「評価できない」のご回答を1件いただいております。合わせて頂戴した自由意見も参考に、今後の活動のさらなる充実を図ってまいります。



第三者意見

2011年8月からコンプライアンス委員長として西松建設に関わることになり、これまでコンプライアンスの側面から社内のさまざまな会議の場や人々と関わる中で、つづさにその変わり様を見てきました。不祥事に端を発する事業活動減退からの復活に向けた活動、信頼回復の取組み、そして社員のおかれた厳しい労働環境の改善やモチベーションアップなど、一人ひとりが危機感を持って、真剣に西松の復権に向けた努力をしていると切に感じているところです。しかし、その取組みは道半ば、厳しい言い方をすれば「まだ始まったばかり」といえます。ただ、それを一歩、一歩前向きに、正しい道筋で進めているのは事実です。「中期経営計画2014」しかり、CSRに係る長期ビジョン「N-Vision2020」しかりです。まずは、そういった着実な取組みにもとづいた実績をあげてほしい。西松の努力が無駄でないことを、私たちに、そしてすべてのステークホルダーに見せていただきたい。そうすれば、CSR経営によって西松建設が復権を果たし、新たな時代へ突入して、永続企業たるべき軌道に乗ったことを証明できるでしょう。

西松CSRレポート2012で報告される内容について、昨年度からの引き続きの活動が基本となっていますが、2011年度の特徴としては、CSR活動における明確な目標設定がなされたことでしょう。只なんとなくの活動ではなく、目的意識を持って取組む姿勢ができた。これは大きな前進です。そしてこれを如何に成し遂げていくかが今後の課題となるのでしょうか。コンプライアンス委員会の関わりで、現場を中心に多くの社員と出会う機会がありました。そこで感じたのは、優秀な人材が多いこと。予算や工程が厳しい現場、震災復興の過酷な現場においても、「より良いモノを顧客に、社会に届けたい!」という一心で仕事をしている若い社員の姿でした。優秀な人材の能力を活かし、そういう世代が西松建設の将来を担い、CSRの目標を成し遂げる基盤になってほしい。そして、会社はそんな社員に報いていかなければならない。そういった企業像を目指して、今後のCSR経営を進めてもらうことを強く要望します。

コンプライアンス委員長 江畑 忠彦
(元一般社団法人共同通信社 常務理事)



第三者意見を受けて

江畑コンプライアンス委員長の第三者意見、まさに当社に対しての叱咤激励であり、改めて身の引き締まる思いでありますとともに、心から感謝申し上げます。また当社の将来に大きな期待をお寄せいただき、その期待に沿うべく、会社の隅々にまでCSR経営が浸透した企業活動に向け、一層の努力をしてみたいです。

2012年度からの3カ年に関する「中期経営計画2014」は、「N-Vision2020」にもとづく当社の「成長期」を支える事業計画であります。CSR経営を企業活動の基盤として機能させ、CSR活動をより一層活発化することにより、経営計画を達成し、永続企業の礎を築いていきます。そして、こういった活動を通じてステークホルダーの皆様のご期待に応えていく所存であります。

「ステークホルダーの皆様のご期待に応える」、その源泉は、ご指摘のとおり「人材」であります。特に、将来を担う若い社員達は、いまでも社内でも多数活躍しております。我々はそういった社員達のご期待に応えていくためにも、CSR活動を積極的に進めていきます。本格的かつ実効的なCSR活動はまだこれからですが、活動における目標とその実績を、CSRレポートを通じて情報開示することで、ステークホルダーの皆様にご期待の姿を毎年確認していただきたいと思います。

CSR・コンプライアンス推進部長 水分 登

本レポートに関するご意見等

当社では、より多くのステークホルダーの皆様へ、当社のCSR活動を知っていただき、率直なご意見を頂戴することで、今後のCSR経営にもとづく企業活動のさらなる発展を目指しています。つきましては、本報告書および当社のCSR活動についてご意見等ございましたら、下記URLにアクセスいただき、アンケート回答とともに御寄せください。

ご意見等のお寄せ先 <http://www.nishimatsu.co.jp/csr/communication/>